

『いえすみ ねずみ』



ジョン・バーニング／作
谷川 俊太郎／訳



この いえには4にんの かぞくの ほかにも ねずみの かぞくが すんでいます。あるひ おとうさんが ねずみを たいじ しようとして いるのを したことも たちは ねずみたちに にげるように てがみを かきました。

『ゆかいな農場』

のうじょう



マルセル・エーメ／作 さくま ゆみこ／訳
さとう あや／画 福音館書店

953

動物たちとお話することができる二人の姉妹と ゆかいな動物たちの おはなしです。家の中で めんどりが ソウになって おおあわてしたり、動物たちが クジャクにあこがれて ダイエットを はじめたり、二人の周りでは いつも おかしなことが おこります。

『おはなしはどこからきたの？』

みなみ 南 アフリカのむかしばなし』



さくま ゆみこ／文 保立 葉菜／絵

388



むかしむかし、アフリカの 小さな村に マンザンダバという 女の人がかそくと くらしていました。あるひ おはなしを ききたいと 子どもたちに せがまれた マンザンダバは、おはなしを さがしに 出かけます。どうぶつたちに たずねまわって たどりついたのは 海の底です。そこには 精霊の民が くらす りっぱな 宮殿が ありました。



『きこえる？ きこえるよ』

たしろ ちさと／絵
グランママ社



あさの めざましどけいは どんなおと？
たいこを たいたり、ラッパをふくと どんなおとが するのかな？ もじがないので えをみて そうそうしながら ページを めくって みてね。



『げたばこかいぎ』

むらかみ 村上 しいこ／作
たかはたけ な お 高 島 那生／絵
びーえいちひーけんきゅうじょ PHP 研究所



913

まよなか、どこからか「はるとくん、おきてください。」と 声が きこえます。よんでいるのは はるとの 右足のスニーカー です。なんと これから ひらかれる「げたばこかいぎ」へ はるとに さんかしてほしいと いうのです。そこで くつたちから、パパに かわぐつが くさいので こまっていることを つたえてほしい と たのまれて しまいました。

『いけの おと』



まつおか たつひで 松岡 達英／さく 福音館書店



ここは もりのなかの ちいさな いけです。よるになると ほたるが とびだしました。みみを すますと「げえこ げえこ げえこ」と ちいさな あまが えるくんの なきごえが きこえてきます。ほかには どんなおとが きこえてくるかな。



『たんぼレストラン』



はやし ますみ／作・絵
ひかりのくに



たんぼの なかには いるよ いるよ。いきものたちが いっぱい いるよ。はるが きて たんぼに みずがはいったら、たんぼレストランの かいてんだ。ちいさな むしは カエルや とりの えさになる。それを こんどは ザリガニが たべる。たべるものと たべられるものの つなかりを かんじる えほん。

『希望、きこえる？』



ルワンダのラジオに子どもの歌が流れた日』

さかえだに あきこ ちよ ちょうぶんしゃ 栄谷 明子／著 汐文社

699



あきこ 明子さんは アフリカのルワンダで、ユニセフの職員として働いています。ルワンダでは、紛争などで親を亡くした子どもがたくさんいます。そのような子どもたちは昔 話や子守歌を知らずに育ちます。子どもたちに 童話や楽しい歌を届たいとおもった明子さんは、ルワンダで幼児向けのラジオ番組をつくりました。